

学校の教育目標
ひろい心もち
豊かに表現できる子



【学び方】を身に付け、自ら課題解決を図る子の育成
～対話的な活動によって、学び合う楽しさを実感できる授業づくりを通して～



研究の仮説
付けたい力を明確にし、数学的な表現による対話的な活動の仕方を工夫すれば、「できた」喜びや学び合う楽しさを実感し、【学び方】を身に付け、自ら課題解決を図る子を育成することができる。



研究内容		
(1)ねらいを明確にした単元指導計画の作成 ①単位時間の学習目標を明確にした単元指導計画の作成	(2)学習指導過程の工夫 ①意欲と見通しをもつことのできる導入の工夫 ②対話的な学びを実現させるための交流の工夫	(3)児童の実態に応じた指導の工夫 ①個の実態把握とつまづきに対する手だての工夫 ②付けたい力の定着の見届けと評価・振り返りの工夫



学年部のめざす姿		
低学年部	中学年部	高学年部
自分の考えをもち、具体物などを使って、 <u>数学的な表現</u> ができる。	自分の考えに見通しをもち、 <u>根拠を明らかにし、筋道を立てて説明</u> できる。	<u>多様な表現を用いて説明し、学び合う楽しさを実感</u> できる。



【学び方】を身につける素地

～言語活動の充実～ 自分の考えや思いを表現し、伝える力の習得	～各教科で養う力～ 基礎的・基本的な知識・技能の習得
-----------------------------------	-------------------------------